

クリンスイ 据付説明書

給水一次側配管との接続および検査は管工事業者に依頼してください。
器具をシステムキッチンに取り付ける作業は、システムキッチン取付設置業者で実施することができます。

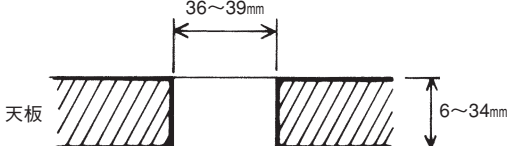
●据付される方へお願い。
この器具を正しく安全にご使用いただくために、「据付説明書」を必ずお読みになり作業を行ってください。

1. 安全上の注意

ここに示した注意事項は、お守りいただかない場合、重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 注意 据付業者の設置不良による不具合、または使用者が取り扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負う、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

- ① 配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行う。
- ② 水道水の飲用基準に適合した水を使用する。
温泉水、井戸水など異物を多く含む水にはご使用になれません。
- ③ カートリッジは凍結の恐れのある場所には設置しない。
- ④ 寒冷地仕様は逆止弁がないので一般地では使用しない。
- ⑤ 必ず同梱の各部品をセットで使用する。
- ⑥ ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーに相談する。カウンターの適合穴径は36～39mm、天板厚は6～34mmです。
適合寸法以外で取り付けると、家財を傷つけたり、水漏れにより財産損害発生のおそれがあります。



●据付に必要な工具は、T型ソケットレンチ(13mm)またはスパナ(13mm)、ドライバー、スパナ(2本)、ホールソー(ドリル)です。

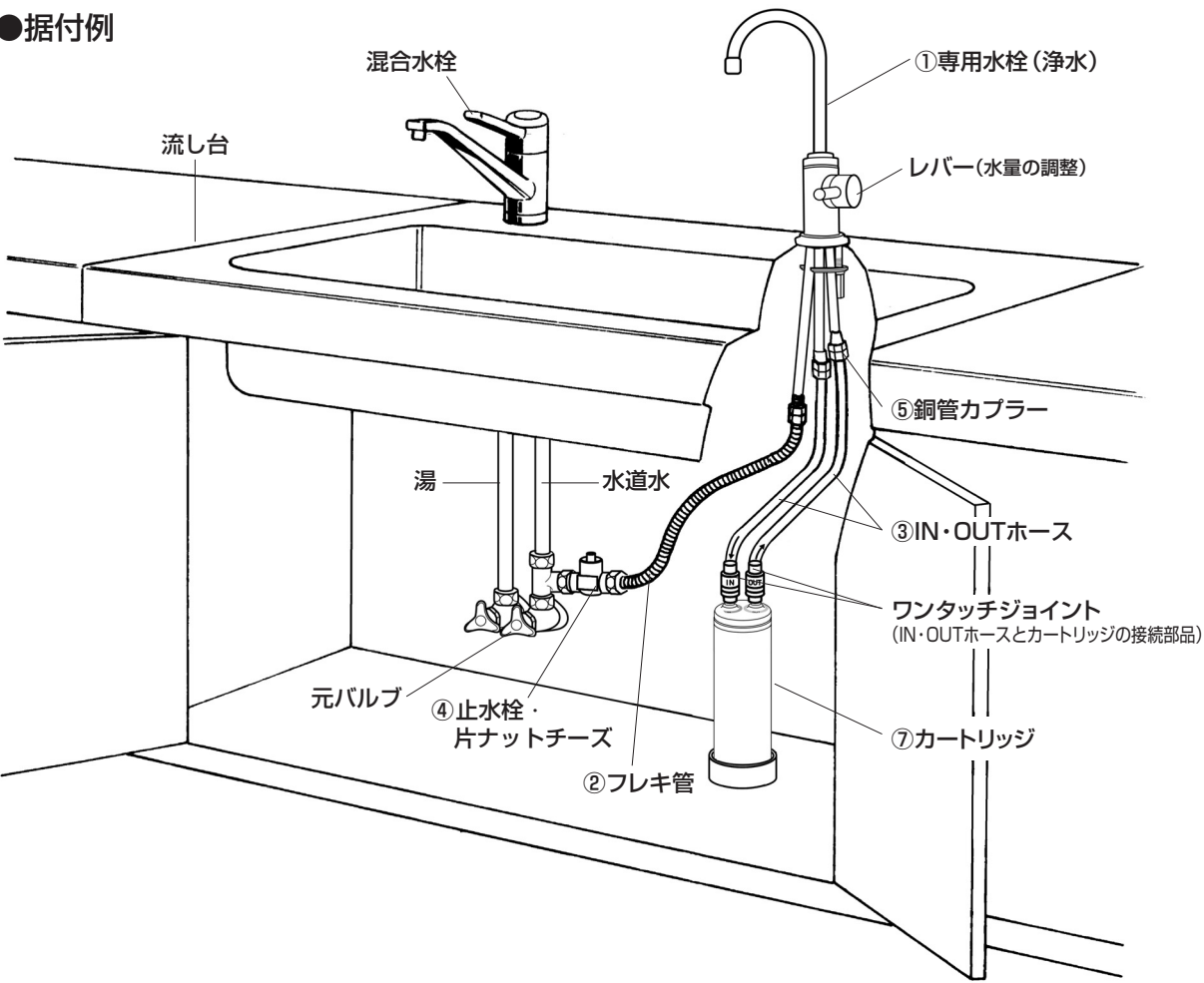
2. 設置条件

本器具の使用可能配水管圧力(静水圧)は0.07～0.75MPa(0.7～7.5kgf/cm²)、常用使用圧力(動水圧)は0.07～0.35MPa(0.7～3.5kgf/cm²)です。

⚠ 配水管圧力(動水圧)が0.35MPa(3.5kgf/cm²)を超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa(2.0kgf/cm²)程度に減圧してください。

4. 器具の据付

●据付例



1. 専用水栓・浄水器 据付け場所の選定

① シンク上(流し台上)

- 専用水栓は障害物がなくレバー操作スペースが確保できる場所に設置してください。
- 専用水栓は、水栓本体を支えられる場所に設置してください。

② シンク下(流し台下)

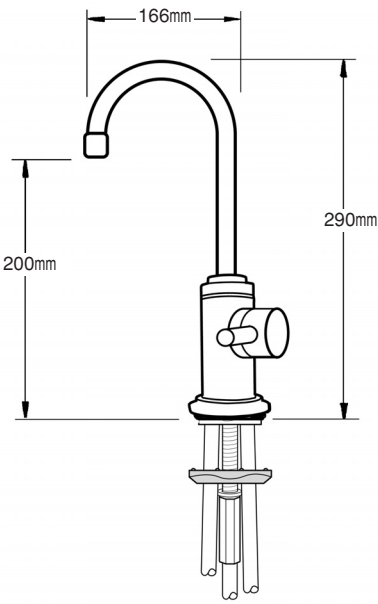
- 専用水栓、カートリッジ、止水栓の各々がフレキ管(600mm)、IN・OUTホース(800mm)で接続できる場所を設置してください。
- 各部材は、既設の配管にぶつからない場所に設置してください。
- カートリッジは、手前に引き出して容易に交換できる場所に設置してください。

3. 梱包部品

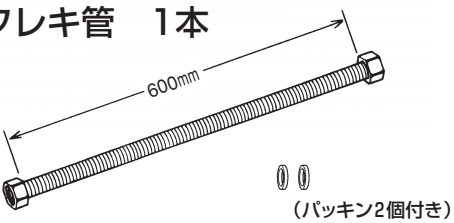
最初に下記内容部品がそろっているかご確認ください。

最初に下記内容部品がそろっているかご確認ください。

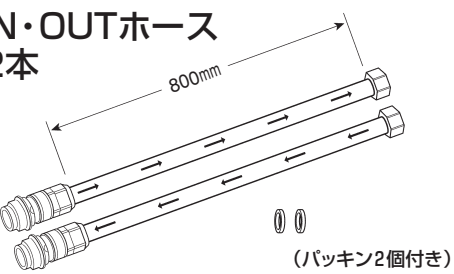
① 専用水栓 1本



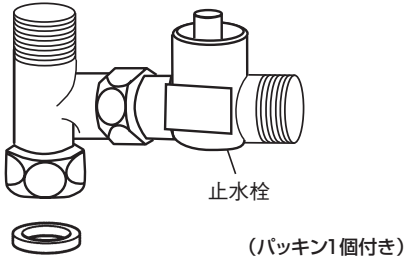
② フレキ管 1本



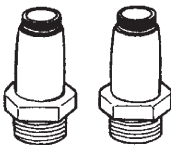
③ IN・OUTホース 2本



④ 止水栓・片ナットチーズ 1個



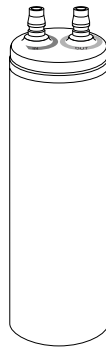
⑤ 銅管カプラー 2個



⑥ カートリッジ受皿 1個



⑦ カートリッジ 1個
(品番TJS-TC-U15)



⑧ ホース用結束バンド 2本

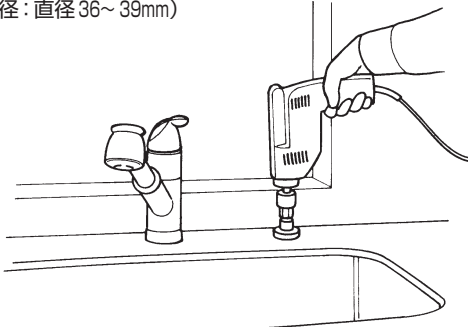
⑨ バイパス管 1個



⑩ 据付説明書／取扱説明書／保証書
保護シール／お知らせコールカード

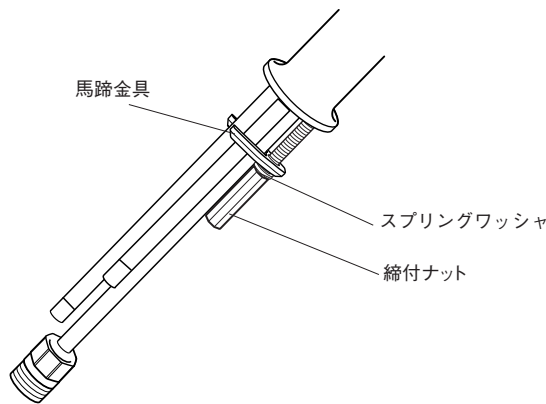
2. 専用水栓の据付

①天板に専用水栓取付用の穴を開けます。
・据付け位置の確認をして、ホールソーで穴を開けてください。
(穴径：直径 36～39mm)

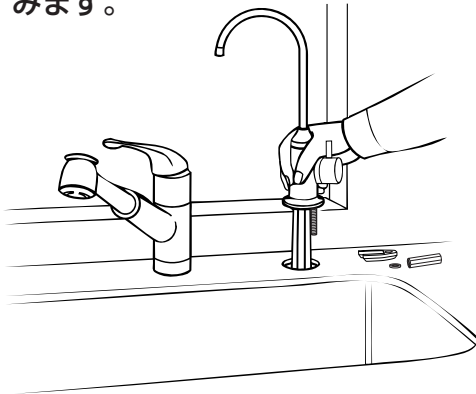


⚠ ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合はキッチンメーカーにご相談ください。

②締付ナット・スプリングワッシャー・馬蹄金具を取りはずします。

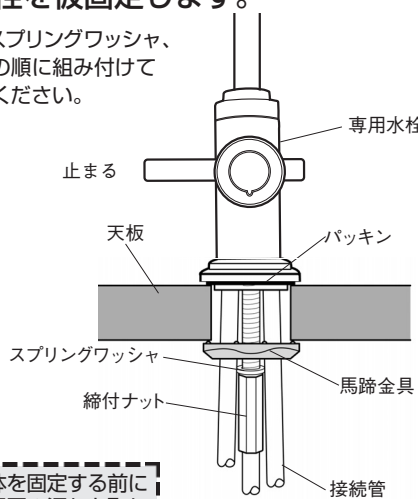


③専用水栓を接続管に注意して穴に差し込みます。



④専用水栓を仮固定します。

・馬蹄金具、スプリングワッシャー、締付ナットの順に組み付けて仮固定してください。

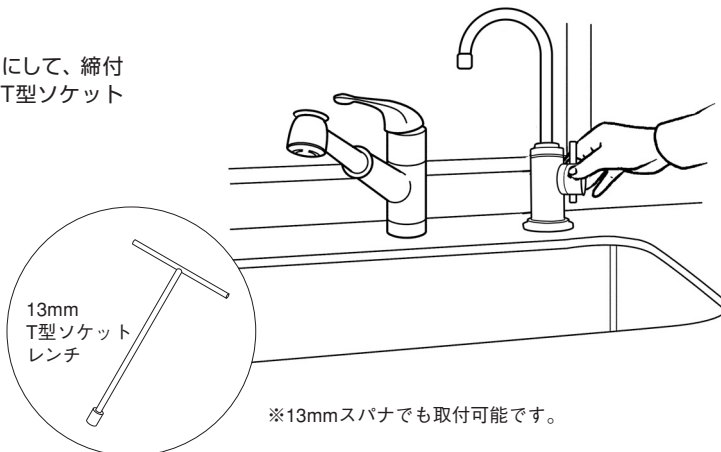


⚠ 水栓本体を固定する前に取付穴周囲の汚れを取り除いてください。

⚠ 水栓レバーは「止まる」の位置にしてください。

⑤専用水栓を固定します。

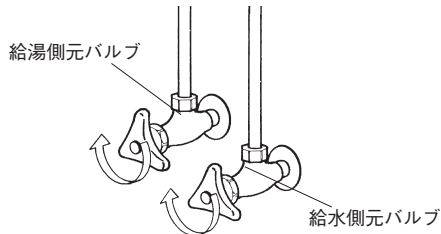
・原則として、レバーの位置が右側にくるようにして、締付ナットを締め付けてください。締め付けにはT型ソケットレンチ(13mm)をご使用ください。



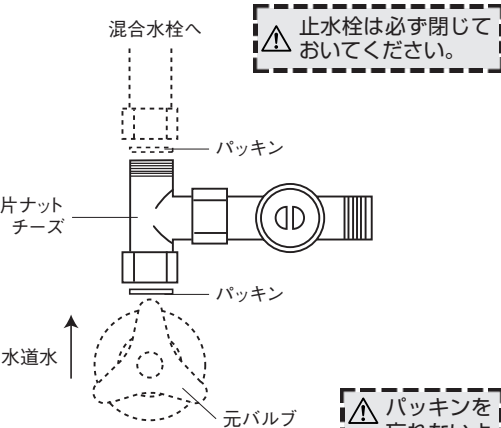
3. 配管接続の手順

※管工事業者に依頼してください。

①給水・給湯元バルブを閉めます。

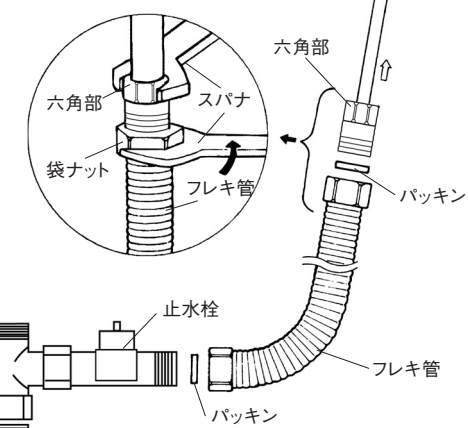


②給水管に片ナットチーズ、止水栓の順に取り付けてください。



③フレキ管を接続します。

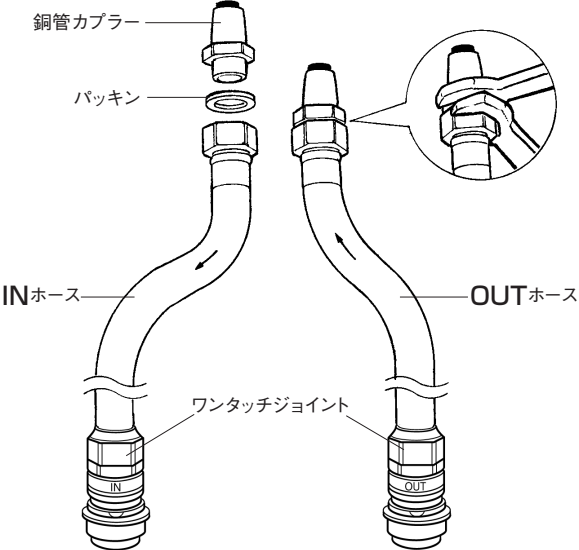
・フレキ管を止水栓に取り付け、片方を専用水栓の一番長い接続管に取り付けてください。
※袋ナットを取り付けるときは、専用水栓の六角部を片方のスパナで十分に支えて、締め付けてください。



⚠ パッキンを忘れないようにしてください。
⚠ 一次給水側は特に水漏れのないよう確実に接続してください。

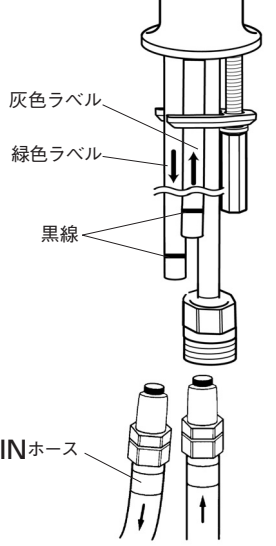
④IN・OUTホースの袋ナットにパッキンを挿入し銅管カブラーを取り付けます。(スパナで確実に取り付けてください。)

※銅管カブラーはIN・OUTとも同じ部品です。

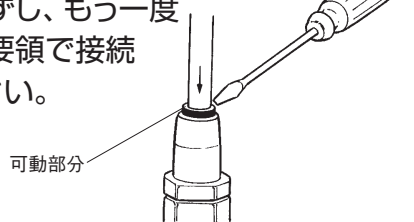


⑤IN・OUTホースの付いた銅管カブラーを水栓の銅管に差し込みます。

・銅管カブラーの差し込みは、**突き当たるまで確実に**行ってください。
・銅管カブラーの差し込みは、銅管にマーキングしてある**黒線にかか**るまで行ってください。
・銅管の切断はしないでください。
・ホース矢印が銅管の矢印と**同じ向き**であることを確認してください。



※誤接続をした場合、カブラー先端の可動部分をドライバー等で下に押し込んではずし、もう一度②と同じ要領で接続してください。

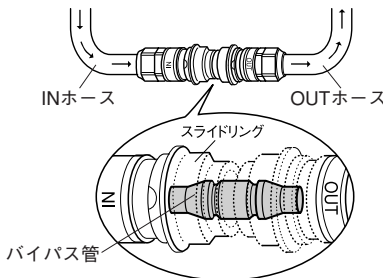


④ご使用開始まで時間がかかる場合

・お客様が、実際にご使用になるまで時間がかかる場合、浄水器に溜まる水の衛生を守るため、浄水器カートリッジは接続せず、バイパス管でホースを接続して通水テストを行ってください。

ワンタッチジョイントをバイパス管に差し込みます

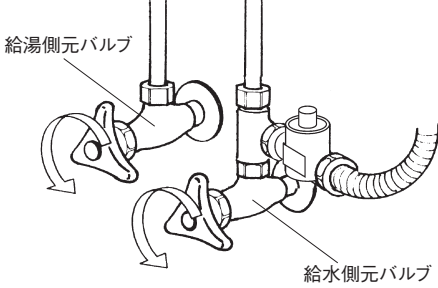
付属部品「バイパス管」を接続してください。



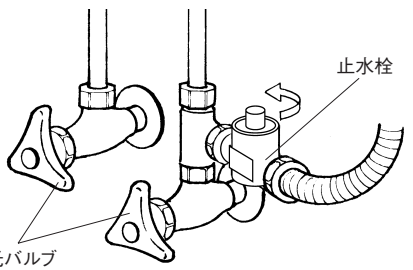
5. 最終点検(水漏れの確認)

※管工事業者に依頼してください。

①元バルブを開きます。



③浄水器側の止水栓を開きます。

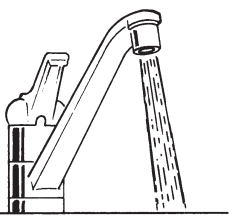


⑤配管各部の水漏れがないことを確認します。

⚠ レバーの開閉操作を繰り返し行って、水漏れがないことを確認してください。

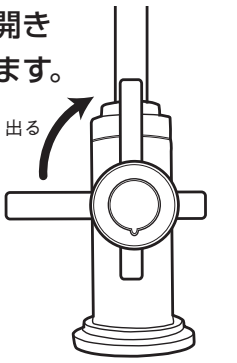
②配管内を洗浄します。

・既設の混合水栓から水を十分に流してください。



⚠ 浄水器に水を流さないでください。(早期目詰りの原因になります)

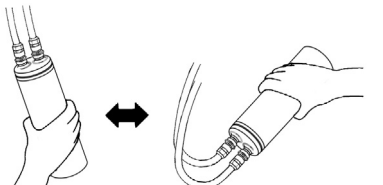
④浄水レバーをゆっくり開きカートリッジに通水します。



⚠ 通水開始時に空気が出ますので、レバーはゆっくり開けてください。

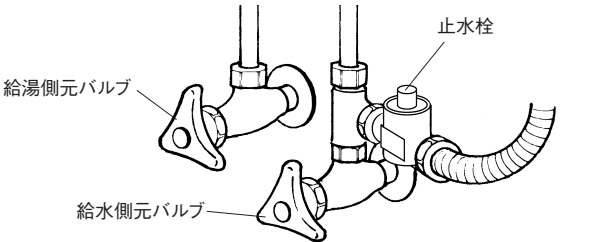
⑥カートリッジの空気を抜きます。

・浄水の水切れを良くするため、浄水を流しながらカートリッジを2、3回逆さにしてカートリッジ内の空気を抜いてください。



⑦流量の調整(専用水栓の場合)

・設置条件を確認のうえ、レバー全開で適量が得られるよう止水栓で調整してください。



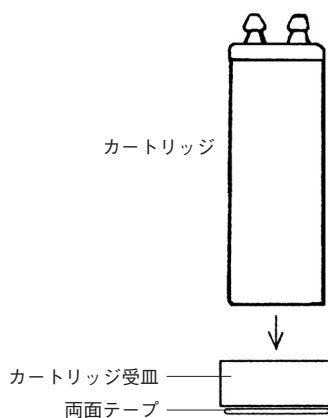
4. 浄水器の据付

●浄水器据付け場所の選定

- ・シンクキャビネット内でカートリッジ交換が容易に行える場所。
- ・水栓からホースで、接続可能な場所。

●カートリッジ受皿の据付け方

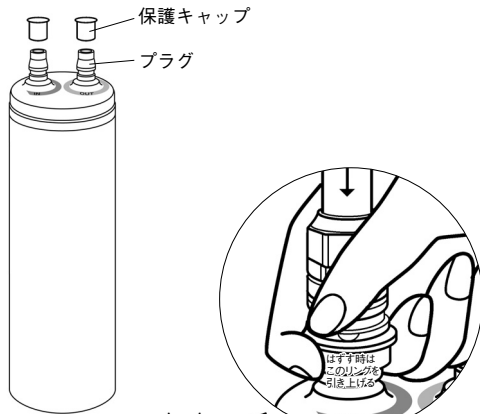
接着面の油分、水分、ほこりをよく除去し、カートリッジ受皿を流し台底面に両面テープで固定してください。



●カートリッジの据付け方

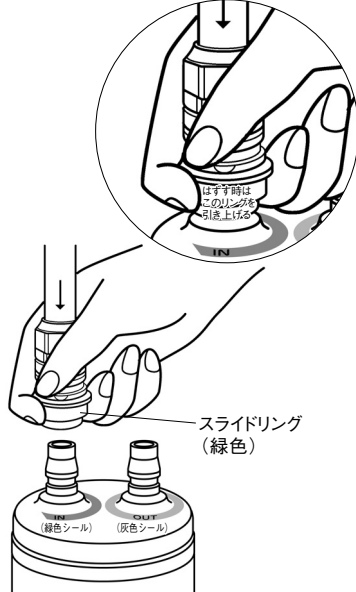
お客様がすぐにご使用開始されない場合は④へ進んでください。

①カートリッジのプラグ先端の保護キャップをはずします。



②カートリッジのシールとスライドリングの色を確実に合わせて接続してください。

※スライドリングを上引き上げたままワンタッチジョイントを垂直に、プラグに合わせてしっかり押し込みます。いちばん奥まで差し込まれているか、確認してください。



③カートリッジ受皿にカートリッジを固定します。



⚠ カートリッジを固定する際は、ホースが折れまがったりねじれたりしないようにしてください。またホースやカートリッジが給湯配管に触れないようにしてください。(変形、故障の原因となります。)

6. 据付後の注意 (お客様にもよくご説明ください。)

⚠ 注意

①設置直後、浄水を1分以上流してから使用してください。

②毎日の使用開始時は、浄水を15秒以上流してから使用してください。

③2日以上使わなかったときは、浄水を1分以上流してから使用してください。

④金属の配管、ホース、カートリッジに塩分を含む調味料等が付着した場合は、固く絞った布で塩分が残らないように、ふき取ってください。

⑤水栓、IN・OUTホース、カートリッジの汚れはやわらかい布でふきとってください。

「水栓の表面をいためる恐れのあるもの」

- ・クレンザー、みがき粉など粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ・ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

等は使用しないでください。

⑥カートリッジは、酸性洗剤、塩素系漂白剤、酢等に接触させないでください。

⑦水栓、ホース、カートリッジは分解しないでください。

⑧水道水を長期間使用しなかった場合や、赤水(濁り)が出ているときはカートリッジ寿命が短くなるため、水道水を流してから浄水をご使用ください。

⑨据付説明書は「取扱説明書」とともにお客様にお渡しして、大切に保管していただくように説明してください。手渡しできない場合、据付終了後、製品の近くに置いてください。

ご使用までに時間がかかる場合、カートリッジは袋のまま、お客様のわかりやすい所に置いてください。